

都市再生整備計画 事後評価シート
遠州豊田PA周辺地区

平成23年3月

静岡県磐田市

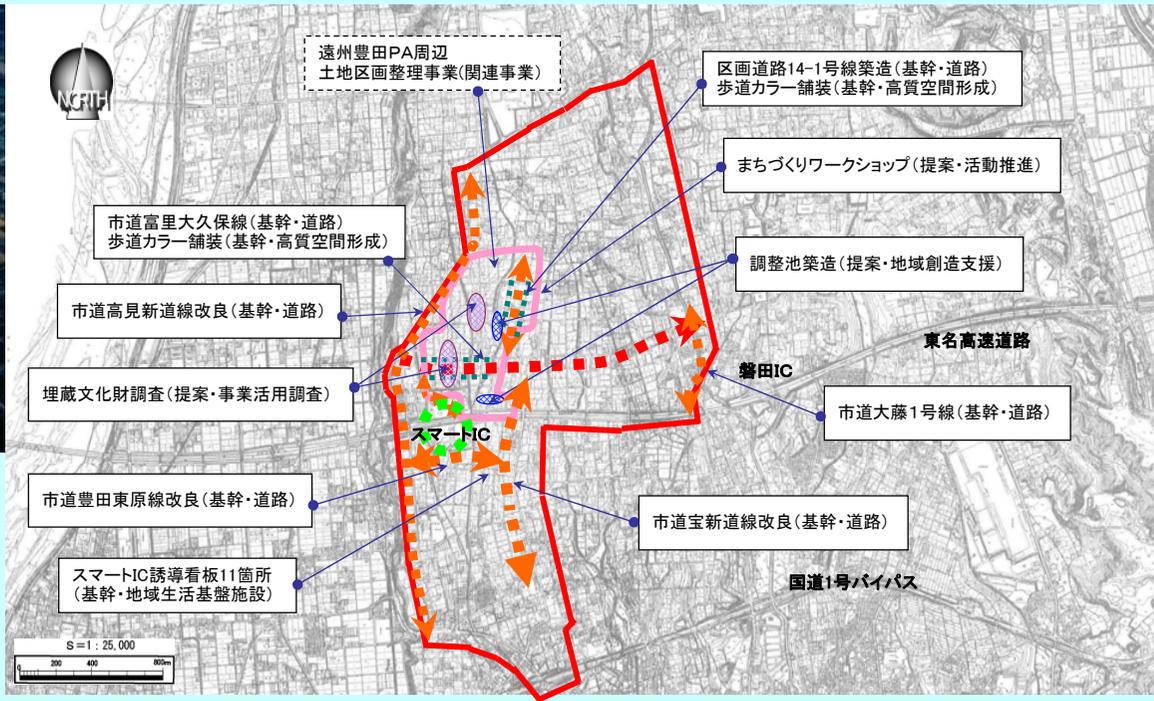
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 静岡県 | | 市町村名 | 磐田市 | | 地区名 | 遠州豊田PA周辺 | | | 面積 | 349ha | | |
|---------------------------------------|---|--|--|---|----------------------------|---------|----------|--|---------|--------------|--|---|---------|
| 交付期間 | 平成18年度～22年度 | | 事後評価実施時期 | 平成22年度 | | 交付対象事業費 | 3,219百万円 | 国費率 | 0.4 | | | | |
| 1) 事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 事業名 道路(市道富里大久保線、区画道路14-1号線、市道豊田東原線、市道宝新道線)、地域生活基盤施設(スマートIC接続道路等)、高質空間形成施設(区画道路14-1、富里大久保線(歩道部)) | | | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(調整池築造事業)、事業活用調査(埋蔵文化財調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくりワークショップ) | | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 事業名 | | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 道路(市道高見新道線、市道大藤1号線) | | 大型商業施設進出による交通量の増加に対応するため追加 | | | 指標「区域内の歩道延長」の従前値、目標値を修正 | | | | | |
| | | 提案事業 | なし | | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | 当初 | 平成18年度～22年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | | - | | | | | | |
| | 変更 | - | | | | | | | | | | | |
| 2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | 指標1 | 本地区における雇用者数 | 人 | 30 | H17 | 1,050 | H22 | - | 2,469 | ○ | あり - なし - | 土地区画整理事業が完了し周辺道路も整備され、企業誘致が順調に進み雇用の創出が図れた。 | 平成23年4月 |
| | 指標2 | 遠州豊田スマートIC利用台数 | 台/日 | 82 | H17 | 200 | H22 | - | 465 | ○ | あり - なし - | スマートICが本格導入され誘導看板の設置や大型商業施設の開業等により利用台数は大幅に増加した。 | 平成23年9月 |
| 指標3 | 区域内の歩道延長 | % | 28.7 | H17 | 35 | H22 | - | 49 | ○ | あり - なし - | 道路整備、土地区画整理事業等により道路の安全性の向上、快適性の向上が図れた。 | 平成23年4月 | |
| 3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度※1 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | その他の数値指標1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | その他の数値指標2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| その他の数値指標3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 4) 定性的な効果発現状況 | 国や地方公共団体が管理する公道としては、全国で初めて、市道富里大久保線と区画道路14-1号線(高見丘30号線)にネーミングライツ(施設命名権)を導入することができた。 | | | | | | | | | | | | |
| 5) 実施過程の評価 | 実施内容 | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | | |
| | モニタリング | なし | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | - | | | | | |
| | 住民参加プロセス | 進出企業18社によるワークショップを10回開催し、区画整理区域内の整備方針の決定や環境保全等の活動について検討し、組織化に発展した。 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● 活動は組織に任せ市は後方支援に徹する。 | | | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | 進出企業及び地域住民によるまちづくり組織の設立。 | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● 活動は両組織の自主的な運営に任せ、市はまち美化パートナー制度等により、機器の貸し出しや傷害保険加入等の支援を行う。 | | | | | |

様式2-2 地区の概要

遠州豊田PA周辺地区(静岡県磐田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 | |
|---|----------------|--------|----------|-----------|-----------|
| 大目標 パーキングエリアを有効に活用した地域経済の活性化と雇用の創出 目標1 土地区画整理事業により質の高い商工業団地を形成し、優良企業を誘致する。 目標2 パーキングエリアのスマートICを活用し、高速道路利用者の誘客を図り、賑わいのある街を創造する。 目標3 交通量の増加に対応するため、安全で快適な交通網を整備する。 | 本地区における雇用者数 | 単位:人 | 30 H17 | 1,050 H22 | 2,469 H22 |
| | 遠州豊田スマートIC利用台数 | 単位:台/日 | 82 H17 | 200 H22 | 465 H22 |
| | 区域内の歩道延長 | 単位:% | 28.7 H17 | 35 H22 | 49 H22 |
| | | 単位: | H | H | H |
| | | 単位: | H | H | H |



| | |
|---------------------|---|
| まちの課題の変化 | <ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設の進出により、市内で最も人が集まる地区となり、賑わいの拠点となっている。 道路沿いに設置した花壇の管理が必要となったが、十分に行われていない。 大規模災害に備え、商業施設との協力体制の構築と防災施設としての公園の活用についての検討が必要である。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> 計画されている健康ランド・ホテルの開業により更に賑わいが進むと思われ、賑わい持続のためのイベント開催や、施設への来客を磐田市内へ誘導する方策について検討する。 災害時における物資供給等、商業施設との協力体制を検討する。 スマートICの高速道路網を活用した物資集積場所や一時避難所としての公園の利用を検討する。 区域内の環境保全について企業組織及び地域組織にまち美化パートナー制度等を活用し、施設の管理を行う。 |